

(様式4)

令和7年11月20日

令和7年度 第2回 大阪市立都島小学校 学校協議会 実施報告書

校 園 名 都島小学校

校 園 長 名 北浦 正美

日 時		令和7年11月19日（水） 10時00分～11時00分	
場 所		都島小学校 多目的室	
出席者	委員 など	5名	
	校 園	北浦正美（校長） 木下佳彦（教頭） 池野喜誠（教務主任）	
	区役所	2名	
議 題		(1) 令和7年度 「運営に関する計画」（中間報告）について (2) 令和7年度 全国学力・学習状況調査の結果について	
協 議 要 旨	協 議 の 結 果		意 見 の 概 要
	(1)	令和7年度「運営に関する計画」（中間報告）について承認される	・学力や体力、タイピングなどのICTスキルなどすべてにおいて2極化がみられる。学校としては子どもの興味を喚起できるように努めていく。とりわけ学力については底辺の底上げ、いわゆるボトムアップが必要である。 ・ローマ字の学習について、3年生で教材として取り扱うが、低学年でも興味を持ち一人一台端末を使ったタイピングでは、ローマ字入力ができる児童も多くいる。 ・いじめについて、「いじめはあかん」と思っているかどうか大切である。
	(2)	令和7年度 全国学力・学習状況調査の結果について承認される。	・理科が低かったのが課題である。昨年度まで研究教科としていたが、教材研究をし、児童がいろいろな体験を通して学習したことが知識と結びつかなかったことが反省である。 ・家庭に支援がいる児童について、保護者の協力が得ることが難しい場合は子どもが自分でできることについてはしっかりとさせることが今後の生きる力につながっていく。 ・算数の無回答率は国語、理科に比べ多くなっているが、正答率については算数が一番よくなっている。
協 議 資 料		「運営に関する計画」「学校教育アンケート」 「令和7年度 全国学力・学習状況調査」の結果	
備 考		傍聴者 [0]名	
		欠席 4名	